

1. 事業の位置付け

事務事業名	民間住宅借上事業		
事業担当	まちづくり事業部 建築住宅課		
予算科目	01-080502-980000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	02	②〈住みごこち〉 人にやさしい居住空間をつくる	
	01	1 地域の特性や景観を活かしたまちづくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	平成18年度～
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
環境・安全性などに優れた、高い居住水準を誇るバリアフリー住宅を借り上げるにより、高齢者・障害者などの多様な市民ニーズに応じています。		住宅に困窮する市民に市営住宅を供給するため、民間の建物・土地所有者などと連携し借上型市営住宅を整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	オーナーや入居者募集などの周知手段数						単位	件
	説明・算定式	広報紙、ホームページ、パンフレット							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			-	3	3			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	整備進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：制度の検討10%、H20：事業主の選定20%、H21：工事完成・入居開始70%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			10	30	100			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	③：遅れている								
	遅れている理由	適正、効率的な整備手法に係る要綱及び施設整備基準の策定に期間を要した。							
平成19年度の主な取組と成果									
借上型市営住宅制度の要綱等を検討したが、案がまとまらなかった。									
平成19年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	住宅に困窮する市民に市営住宅を供給するための建替整備手法として必要性がある。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	公営住宅法に位置づけられている民間活力導入手法である民間借上げ住宅による公営住宅の整備手法は、良好な公営住宅を安定的に供給する手法として有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	住宅困窮者(高齢者や単身者など)を対象とした住宅確保の視点などを考慮し、適正な受益者負担を図っていく。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	事業経費に関しては、入居者ニーズを勘案しながら更なるコスト削減に取り組む。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

#### 今後に向けた課題の分析

必要性、有効性、妥当性、効率性の総合評価は高い。ただし、効率性の部分で、事業経費のコスト削減に取り組む。

### 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				制度の検討	事業主の募集・選定	工事着手・完成		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	9,000	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	11,000	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	20,000	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.65	0.65	0.65	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	5,455	5,455	5,455	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	5,455	5,455	25,455	0	0

### 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

#### 平成21年度の事業の方向性

● 現状の規模で継続    ○ 拡大して継続    ○ 縮小して継続    ○ 廃止    ○ 休止    ○ 終了    ○ 他事業と統合

#### <判断理由>

実施計画のスケジュールに対して、進捗状況に遅れが生じているため、事業計画を概ね1年延伸して事業を進めたい。変更予定計画は、20年度に募集要綱など整備、21年度事業主の募集・選定、22年度工事着手・完成とする。

#### 平成21年度の取組方針

入居者のニーズを考慮しながら物件費を見直し、コスト削減に努める。

#### 課長コメント

19年度の事業進捗が遅延したため、20年度以降の事業計画を見直し、計画を変更して事業実施を図りたい。